

保全状況報告書(保存管理の実施状況)の提出に向けた取組

1 概要

- ・ 3月末に開催した第10回富士山世界文化遺産協議会において、「保存管理の実施状況」を承認。
- ・ 以降、記載した取組の時点更新を行うなど、最新の情報を反映。

2 前回からの主な修正点

① 保存管理全体の進捗状況のさらなる明確化

- ・ 「I 富士山ビジョンに基づく各種戦略の進捗状況 3 実施状況」に前回報告書に示した戦略・方法の方向性等と対比する形で進捗状況を記載し、今回進展した取組が一目で理解されるように明示(P 3)。

② 3月からの時点更新・字句修正

- ・ 2018年6月22日に開催した「世界遺産登録5周年記念シンポジウム」を追加(P 58) 等。

※ 詳細は、資料2-2(富士山世界文化遺産協議会(平成30年3月27日開始)以降の主な修正点)を参照。

3 スケジュール

2018年	～10月	文化庁を中心に保全状況報告書(SOCレポート)を作成、英訳作業
	11月末	日本政府から保全状況報告書をユネスコ世界遺産センターへ提出
2019年	7月頃	第43回ユネスコ世界遺産委員会における審査